

けいれんについて

なんらかの原因により脳神経が異常に興奮し、本人の意思と関係なく一定の間からだびくびくしたり突っ張ったりすることで、熱性けいれん、胃腸炎に伴うけいれん、髄膜炎、脳炎・脳症、てんかんなどがあります。

呼びかけても反応がない、白目をむく、唇の色が青ざめる、口から泡をふくなどが見られることが多く、嘔吐を伴うこともあります。短時間のけいれんでは後遺症を残すことはありませんが、けいれんが長引く場合やけいれんの原因によってはすぐに治療が必要な場合があります。



まずは落ち着いて観察を

けいれんのほとんどは数分で止まります。唯一の目撃者はその場に居合わせたご両親のことが多いので、観察ポイントを注意深く見て、できればメモに残してください。



スマホなどで動画をとり、あると受診時役立ちます。

ほとんどは数分で止まります

すぐに受診

- けいれんが **5分以上** 続く
- けいれん後 30分間たっても **意識が戻らない**
- けいれんを短時間に **繰り返した**
- 左右** でけいれんの強さが **違う**
- けいれんする前に頭を強くぶつけていた

上記以外のけいれんの場合は、落ち着いたら病院に電話相談してください。

5分以上続く場合は すぐに救急車を呼びましょう



119番

観察ポイント

- | | | |
|--------------------------------|--------------|--|
| <input type="checkbox"/> 持続時間 | 5分以上続く場合は救急車 | |
| <input type="checkbox"/> 手足の動き | 左右対称ですか? | |
| <input type="checkbox"/> 目の向き | どこを見ていますか? | |
| <input type="checkbox"/> 顔色 | 青くなっていますか? | |
| <input type="checkbox"/> 体温 | 熱はありますか? | |

おうちケアのポイント

Point

寝かせて観察

平で安全な場所に寝かせ、吐いたものが喉に詰まらないように顔を横に向け、よく観察します。(上記のポイントを参照)



吐いたものが詰まらないよう横にする

やってはいけないこと

- の中に物や指を入れない
- ゆすったり叩いたりしない
- けいれん中や直後は飲み物や飲み薬は与えない(誤嚥の可能性がります)



けいれんの種類

基本的に熱性けいれんの多くは単純性といって、短時間で収まる、24時間以内に繰り返さない、けいれん後の意識回復がよい、左右対称のけいれんなどの要素のもので、これであれば心配ありません。しかしそれに当てはまらない複雑型（左右非対称、繰り返すなど）もあります。複雑型はてんかんや脳炎が隠れていることもあるので、詳しく病院で精査する必要があります。

また、激しく泣いた後に起こる「憤怒けいれん」では乳幼児が激しく泣いた後に息が詰まったように体が突っ張ってしまいます。強く泣いただけでするので焦る必要はありませんが、てんかん発作との区別が難しいこともありますので、小児科にご相談ください。

けいれんとまぎらわしい症状

悪寒

- 意識がある
- 視線が合う
- 受け答えができる

体が急に熱を上げようとするときに筋肉を細かく収縮させて熱を作ることです。けいれんのように全身が震えますが、意識はあり視線が合ったり受け答えできる点がけいれんとは異なります。悪寒があるときは服や布団などで温かくしてあげてください。

熱せん妄

- 名前を呼んだり肩を叩くなどの刺激で反応がある

高熱があるときにぼーっとしたりうわごとを言ったりすることです。意識が無いように見えますが、名前を呼んだり肩を叩くなどの刺激で反応がある点でけいれんと区別できます。

「けいれんではじめて
救急車を呼んだ」
という方もいます…

memo

救急車を待つ
間に用意すると
便利なもの

- 母子健康手帳
- 福祉医療費受給者証
- お金
- 健康保険証
- おくすり手帳
- 着替え
- 哺乳瓶・ミルク
- タオル・手拭き
- 靴（滑りは自力のため）
- おむつ・お尻拭き
- ビニール袋



よくある質問



Q けいれんを起こした場合、**予防接種**を受けるのに**3ヶ月以上期間**を置かないといけないのですか？



A

最後のけいれん発作から2～3ヶ月空け、主治医の許可があれば接種が可能となります。けいれん後間もない時期に予防接種を受けると接種後にけいれんを起こした場合予防接種が原因か、元のけいれんの再発か判断が難しいためです。ただし主治医の判断で短縮可能な場合もありますので、小児科にご相談ください。



おれた
予防接種の
スケジュールも
ご相談ください。



Q 熱性けいれんを起こしたことがあります。**発熱時にけいれん予防の薬**を使った方がよいのでしょうか？



A

熱性けいれんを1回起こしたことがある場合、その後、別の機会に発熱した際に2回目のけいれんを起こすのは約3割です。これまでに何度かけいれんを起こしたことがあっても、けいれんの時間が短い、24時間以内に繰り返さないなどの経過で「単純型熱性けいれん」と診断されていれば、発熱時のけいれん予防は原則不要です。ただしご家族が不安な場合は使うこともありますので、小児科で相談してください。けいれん予防薬を使用すると副作用でふらつきやぼーっとすることがあるので注意が必要です。